



Corporate Mind

1938

創業。日本国内の気象観測の礎を作りました。

気象観測機器

1963

気象庁の検定槽として大型試験槽を導入。

理化学機器

2000

培った温度と湿度のノウハウをもとに、大型恒温機を「産業用恒温機」と名付け、環境試験機も構造をリニューアル。市場を次第に産業界へ転換していきます。

2005

特型=標準品と言う考え方
お客様の「困った」「こんなあったらいいな」に応え、設計から検査までの一貫製造が高品質かつ低コストのカスタマイズ製品を可能にしました。

環境試験機

2007

省電力モデル「みどりシリーズ」を発売。
「緑の地球を守りたい」をコンセプトに、従来品の電力消費半分を目標に設計されました。現在では小型恒温機だけでなく、環境試験機や大型の恒温機もラインナップしています。

2011

TWIN SERIES

みどりシリーズのフラッグシップモデル「TWIN」シリーズを発売。
新しい発想で生まれたモデルです。みどりシリーズ初の産業用恒温機もラインナップに加わりました。

2016

筐体永年保証と言う考え方
三条鍛冶の伝統を受け継ぐ板金職人たちにより手掛けられた筐体には絶対の自信を持っています。筐体は永年保証を基本とし、より安心してお使いいただけます。

2018

試験槽=校正対象と言う考え方
JCSS及びJTMK12では温度試験槽を校正対象としました。測定器の信頼性向上の為、校正準備室を設立し、運用準備開始。

2020

校正室を本社工場に開設
校正準備室で培った校正技術を社内校正および受託校正に展開。

2021

オンライン展示会を常設
展示室にオンライン設備を常設し、いつでも商品説明および取り扱いをオンラインで専門スタッフが説明します。

私たちは 環境試験機メーカーです

昭和13年に気象観測機器の製造販売から始まり、
汎用科学機器の製造販売を経た事で培った「温度・湿度」に関して独自の技術を生かし、
測定機器としての機能を考慮した製品開発、製造販売を行っています。
激変する時代の中で必要とされている試験環境・性能へのご要望も多種多様かつ複雑化しています。
私たちメーカーの使命はそのような社会から要求される製品作りを行うことです。

海外企業の参入・輸出がますます加速すると予想される今、私たち日本企業の産業製品の品質は
逆に世界へアピールするチャンスであり、発展のきっかけとなり得ると私たちは信じています。
そうした時に必要な品質の決め手は日本産業界が培ってきた高い技術と
洗練されたものづくりの発想、そしてそれを最終的に検査する試験機です。

私たちいすゞ製作所は「人に優しく、地球に優しい製品作り」を目的としています。
デザインにこだわり、実際に操作する人が安全で使いやすい製品
「変わってはいけないカタチ」を貫きながら、限りある資源を最大限有効利用し、
省電力かつ高性能な製品「変わらなくてはいけないカタチ」を追求し続け、
またお客様の本当に必要なカスタマイズ製品を社員が心をひとつにして丁寧に製作させていただきます。

元気で笑顔

いすゞ製作所は昭和13年に気象観測機器メーカーとして
創業以来、温度と湿度に関わり続けてきました。
現在は、環境試験機というあまり皆様の目に触れる機会が少ない装置を製作しています。
ですが、日本の高品質な製品を作るためには「品質」が必要不可欠であり、
その品質を試験する為になくはならないものです。
だからこそ、お客様のことを思い、お客様が本当に必要な製品を作ってこそ価値があります。
そして、実はその原動力が「元気」と「笑顔」なのです。

いすゞ製作所はお客様に驚きと感動を届けたいと考えています。
技術や能力・ノウハウはもちろん大切なものですが、お客様のことを思う
気持ちから来る発想力は毎日、社員が元気で笑顔であることから生まれてきます。
元気があるから笑顔になり、笑顔だから元気が湧いてくる。
その相乗効果がやがて大きな輪となり、お客様を驚かせたり、
感動させたりできる力になると私たちは信じています。
それが私たちのモットーです。



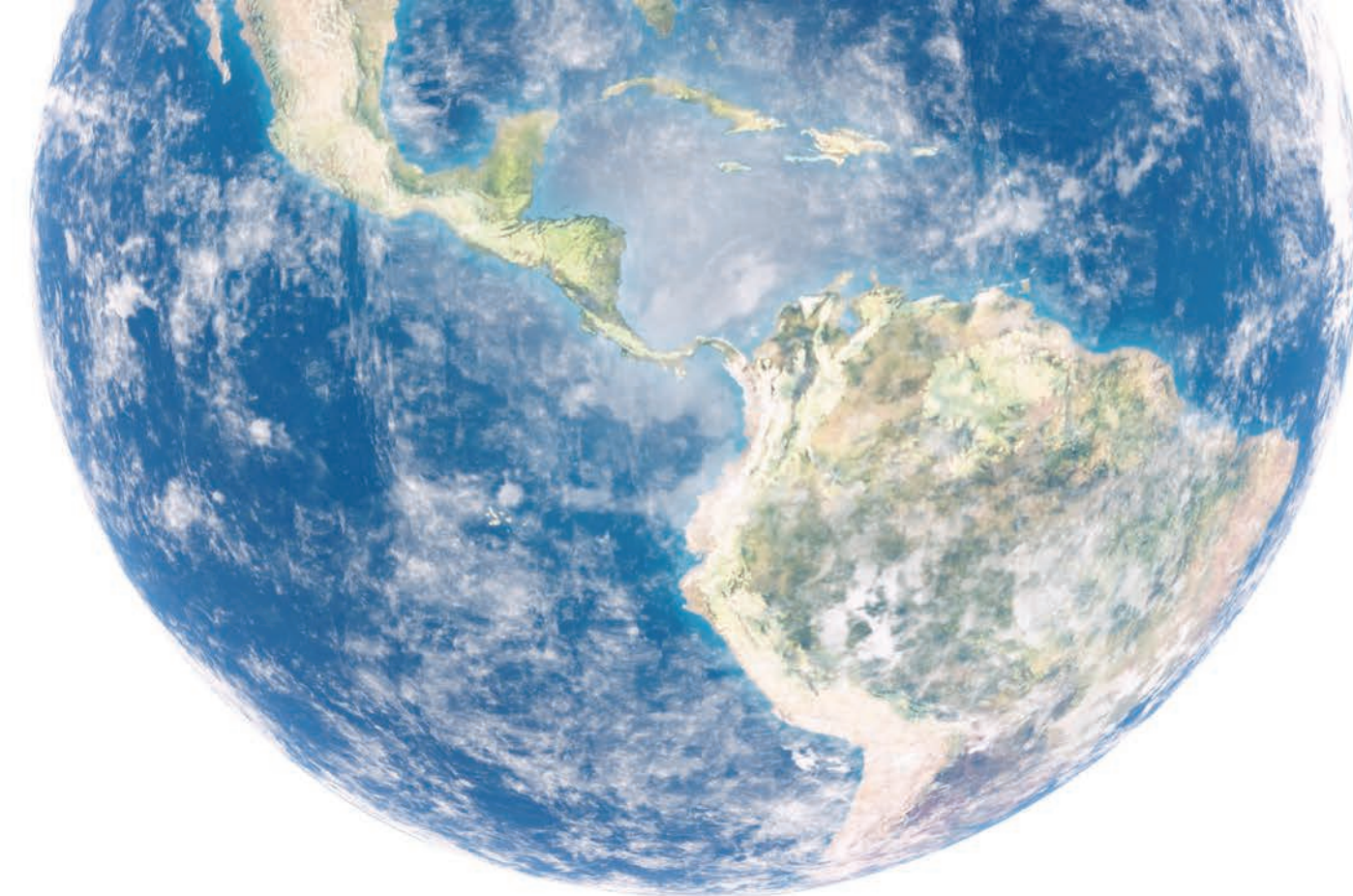
人に求められる

当社の強みはお客様だけの特別な1台仕様、カスタマイズ品の製作です。ここ数年で新規開発の信頼試験に対する要求事項の複雑化による特殊な形や仕様での装置の需要が非常に高まっています。当社では設計から検査まですべてを社内一貫製造で行い、低価格かつ迅速なご提案や製作を可能にしています。

デザインにこだわり、安全で使いやすい製品「変わってはいけなカタチ」を貫きながら、限りある資源を最大限有効利用かつ高性能な製品「変わらなくてはいけないもの」を追求し、人に、社会に求められる製品作りを目指しています。

地球に優しい

当社は兼ねてより地球環境に優しい製品作りを目指してきました。2007年より発売した「みどりシリーズ」は従来機種に比べ電気代を50%削減した革新的な省電力モデルです。標準ラインナップだけでなくカスタマイズ品、新規開発品も電力負荷削減の想いを込めた製品作りを目標としています。



人に求められ、 地球に優しい製品作り。

こんなのあったらいいな！をカタチにします。

社会に求められる

電子機器、自動車を始めとする産業界は急速な進化を遂げておりますが、我が国が他国の追従を許さない要因として、品質の良さと耐久性が優れていることです。特に、温度・湿度の変化または耐熱耐湿は、性能も左右する重要な試験です。

当社では、創業以来温度湿度一筋に様々なノウハウを蓄積してまいりました。「お客様の困った!」のお役に立ちたい。一台一台丁寧に対応したい。

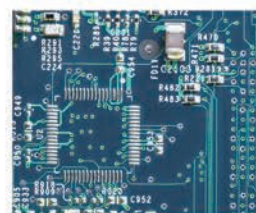
世界が追従できない「品質、耐久性、こだわり、知恵」は日本企業だからなせる技。そんなお手伝いがわずかながらでもできることを誇りに思っております。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

SDGsな考え方

地球という、惑星に私たちは生かされているのです。そこで、豊かな生活を求め工業は発展を遂げてきました。しかし、その影響で地球は悲鳴を上げ始め、人々は行き過ぎた文明に文化を忘れかけています。「人に求められ、地球に優しい製品作り」それは、正にSDGsな考え方。

導入事例



電気・電子



自動車・航空



医療・製薬



食品

製作事例



真空熱処理槽



搬送型耐熱試験機



温度試験機



熱衝撃試験機



複合試験機



クリーンオープン



製薬用乾燥機



食品乾燥機



食品育成室

心を込めて

弊社の経営姿勢は「人から人へ、両手で受け取り、両手で手渡す」ことです。お客様のご注文品を最初から最後まで一品一品丁寧に扱い、求められている以上のことをしてお客様に驚きと、感動を提供したい。そしてそれをお客様のもとへ大切にお送りし、「ありがとうございます。」と両手で手渡してからが本当の始まりなのです。

心を通わせる

いすゞ製作所の製品は材料と人がいなければ作ることはできません。仕入先様、そして、社員全員と「心をひとつ」にしたから。お客様の笑顔に会いたい。そのためには、私たち社員がお客様と「心をひとつに」しなくてはなりません。その思いを、仕入れ先様へ伝え、良い部品提供を受けて初めて良い製品が生まれます。精一杯に知恵を、力を、声を出し続け、真心をこめて、誠心誠意、丁寧に。

「ありがとう」と
言われる会社で
ありたい

心が動く

(株)いすゞ製作所は“心が反応する”社内環境作りが大切だと考えています。たとえどんなに良い設計ができたとしても文章だけでは考え方によってはまったく違うものが生まれる可能性があります。それは文章で語られた製品では心が反応しないからです。いすゞ製作所では心が反応する、そして想いが伝わる仕掛けが社内の至る所にあります。例えば、社内に貼ってある20種類を超えるスローガンは毎日の心掛けが一目で分かります。くじけて心が弱くなり逃げてしまいそうとき、見上げればどこでもひたむきな気持ちを思い起こさせてくれます。

板金エリア。平面の基準となる定盤は作業者の聖地。この上の仕事が自分の価値を決めるという想いで仕事をするると作業者は自然と一礼してから上がるようになります。そして各課の部屋はそれぞれ黄色や青に色分けされています。休憩時の安堵感や落ち着いて思案をめぐらせられるように考えられた配色にしているのです。頭で考えるのではなく、心が感じて動くこと、そうすることで社員本来の力が出せたり、お客様の気持ちを形に出来る事ができるのです。

すべてはお客様の「ありがとう」の為に。

01 工業規格の制定

弊社が所属する日本試験機工業会（JTM）の工業規格であるJTM Kシリーズの制定に参加しました。JTM Kシリーズは試験槽の性能試験方法と性能表示方法に関する規格であり、業界統一した標準は、もちろん世界標準（ICE 60068-3-5,6）に準拠しています。

当社が培った知識・経験や社内活動、経営手法などを講演活動や学校での講義、若手経営者のクラブなどでお伝えしています。また、地元小学校の夏休みの社会科学習も行っています。



02 節電対策

元々は地球環境を考えて始めた環境対策でしたが後にそのまま節電対策としても大きな効果を生む事になりました。様々な仕掛けで社内を改造することで何より社員の節電に対する意識の向上にもなっています。2009年度比で全体で電力量を約30%、CO2排出量を約54トン*削減しました。



トッパンナートランスの導入とエアコンプレッサの省電力化



窓に熱遮断フィルムを貼り、エアコン負荷を軽減

照明を半分にして、全てLED照明に変更

*排出係数は「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル Ver2.4」平成31年3月（環境省、経済産業省）を用いて算出

‘社会的責任’

活動を通じて、業界の発展や社会に貢献できる人間作り、会社作りをする。

03 講演活動

当社が培った知識・経験や社内活動、経営手法などを講演活動や学校での講義、若手経営者のクラブなどでお伝えしています。また、地元小学校の夏休みの社会科学習も行っています。



04 インターンシップ受け入れ

毎年、工業高等専門学校・工業高校の学生さんのインターンシップ受け入れをしています。会社の研修施設で宿泊しながら最大2週間までの研修が可能です。



05 災害対策

過去、受けた2度の大きな水害の経験から万が一、水害や地震などで会社に残されたとき社員が3日間食べられる食料と水、防寒具、非常用ガソリンなどを常備しています。



06 ボランティア活動

地域の活動やボランティア活動に積極的に参加しています。東日本大震災で三条市に避難された福島県南相馬市の方々の避難所で約2ヶ月に渡り、ボランティア活動に参加しました。また、7.29水害で甚大な被害を被った地元下田地区のシンボル「いい湯らてい」に有志の社員が復興のお手伝いに伺いました。



C Customer Care
A Active
P Presentation



株式会社 いすゞ製作所

- 低温恒温恒湿試験機 ■ 恒温試験機
- 省電力製品の生産 ■ カスタマイズ生産
- 旧製品の受注生産

URL	https://www.isuzuseisakusho.co.jp
総合窓口	info@isuzuseisakusho.co.jp

〈 本社 〉 ISUZU CAP 新潟

〒955-0151 新潟県三条市荻堀字藤平1397-42
TEL 0256-46-2200
FAX (代表) 0256-46-2601
FAX (コールセンター) 0256-46-2237

ISUZU CAP 関東

〒208-0004 東京都武蔵村山市本町2-1-6第二古川ビル3階
TEL 042-569-6940 FAX 042-569-6941

ISUZU CAP 関西

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町23-4 石田ビル101
TEL 06-6170-9892 FAX 06-6170-9893